

## 学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況

取組名称：	教職インターンシップⅠ <教科又は教職に関する科目>
連携先との調整方法：	学部の担当教員・職員と美浜町教育委員会・各学校の教務主任との協議、及び校長会での意見交換。
具体的な内容：	<p>2015年度は、美浜町教育委員会、武豊町教育委員会、南知多町教育委員会、日本福祉大学付属高等学校と連携して、美浜町（小学校6校、中学校2校）、武豊町（小学校4校、中学校2校）、南知多町（小学校2校）、日本福祉大学付属高校で、117人の学生が年間約40時間の学校体験を実施した。活動内容は、1）プリントの印刷・配布や漢字テストの採点、机間巡視・机間指導、ノート、ドリルの丸つけ、プリントや問題集等の解説、授業の準備や後片付け（体育、理科、家庭など）、特別支援学級の児童への付き添い など授業・学習への補助、2）朝自習、給食指導、給食費徴収、放課後学力補充教室等の学習支援、休み時間の遊び、係・当番活動の援助、など学級づくりへの補助、学校行事（運動会、卒業生を送る会など）への参加と補助、課外活動への参加、部活動、クラブ活動、委員会活動等への参加と補助、登下校指導、掃除指導、校内整備等、校内研究会への参加などの学校経営等への補助など、授業を除く教員のあらゆる仕事を体験する。</p> <p>学校毎に学部の教員を担当として配置し、年3回程度訪問指導をする。また、事後のまとめを学校ごとに行ったあとで、全体での経験交流会を行っている。</p>

取組名称：	教職インターンシップⅡ <教科又は教職に関する科目>
連携先との調整方法：	学部の担当教員・職員と美浜町教育委員会・各学校の教務主任との協議、及び校長会での意見交換。
具体的な内容：	<p>教員採用試験の合格者及びインターンシップⅡを強く希望する4年生を対象に、後期に1週間程度、美浜町内の小学校で、4月から学級担任をするにあたって必要な知識、考え方、技術などを学ばせている。インターンシップⅠと同じように、学校毎に担当教員を配置し、訪問指導及び意見交換を行っている。</p>

取組名称：	学校ボランティア
連携先との調整方法：	教職課程センター及び学部担当教員と教育委員会または要請校との協議
具体的な内容：	<p>教職課程センターに地域連携部門を設け、学生ボランティアの派遣について教育委員会からの要請に応じて学生ボランティア（学校サポーター）を派遣している。</p> <p>2015年度は、美浜町3名、南知多町2名、武豊町8名、阿久比町3名、北名古屋1名、計17名の学生を送り出している。活動内容は様々であり、通常学級や特別支援学級の授業の支援をはじめ、校務全般の仕事の支援を行っている。</p>